

就任のご挨拶

岩手県中小企業団体中央会

専務理事 千葉 俊明



4月27日の総会ならびに理事会の選任によりまして、専務理事に就任させていただくことになりました。まことに光栄なものと存じております。

中小企業団体中央会は、本県経済の中核を担っている中小企業の組織化を通じて、会員の皆様とともに、地域の活性化に中心的役割を果たすことが求められております。

特に、近年、社会経済環境の変化が著しく、システム全般にわたり制度疲労を起こしており、新たなビジネスモデルの構築に向けて、あらゆる分野、業種で激しい競争が巻き起こっております。

我々が、この厳しい経済環境の中で生き延びていくためには、わが郷土に住む全ての人達が、生き生きと生活できるような地域社会づくりに参加できるか否かにかかっているといっても過言ではないと思われます。そのためには、社会から必要とされる組織であり、住民・顧客から必要とされる製品、サービスを提供し続けることが出来るか否かにかかっております。

このような困難で厳しい環境ではありますが、会長、副会長のご指導の下、役職員全員一丸となって、会員の皆様のご要望・ご意向を大事にしながら、社会と顧客の動向を見極め全力で取り組んで参りたいと考えております。

そして、このことは、ひいては岩手に住む子供たちのために夢と希望のある職場と仕事を提供し、生き生きとした故郷創造に資することとなり、地域経済の好循環を生むものと確信しております。

どうか会員の皆様はじめ、県、市町村、関係機関の皆様のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

第 5 0 回 中 央 会 通 常 総 会 を 開 催

～中央会創立50周年を迎え、広範なサービス提供と高度な支援体制の構築に向けて～

本会の第50回通常総会が4月27日(水)盛岡市のホテル東日本で開催された。会員558人中288人(委任状を含む)の出席を得たほか、岩手県知事をはじめ関係各機関から来賓多数のご臨席をいただいた。



議場では、上程された全7議案が原案通り、満場一致により可決決定された。新年度の事業計画では、三位一体改革の一環として国が進める補助金の整理・大括化に伴い、中小企業関連予算は前年に引き続いての縮減を余儀なくされたが、限りある予算の中で最大限の効果を生み出すべく、

会員サービスの更なる充実を念頭に、組織活動新展開支援事業、戦略的連携強化指導事業、若手経営者等連携促進育成事業等の既存の支援事業を更に強化し事業予算の実効ある運用を図るとともに、県大連経済事務所の設置を契機に対中経済交流の本格化など、県内企業の海外進出ビジネスのサポートを行うほか、サービス産業及び食産業の新たなビジネスモデルの構築、さらには65歳継続雇用の推進等、迅速かつ的確な支援体制の確立を目指すこととした。

なお同日、本会役員の補充選挙が行われ、新たに理事4名、監事1名の選出がなされ、次の方々が各々就任した。

専務理事	千葉 俊明	(本会常勤)
理 事	工藤 浩	(盛岡地区タクシー業(協)理事長)
理 事	戸田 敬	(岩手県生めん(協)理事長)
理 事	豊岡 卓司	(岩手県商店街振興組合連合会 会長)
監 事	佐藤 幸雄	(岩手県管工事業(協連)会長)

計画の重点目標

1. 支援活動・連絡活動

(1) 中小企業組合組織の強化と多様な事業活動の展開

新規組合の設立の推進

- ・新産業分野における事業協同組合等の設立
- ・地域における新たな組織化ニーズの発掘と組合の設立
- ・企業組合による創業の促進
- 既存組合の活性化への支援強化
- ・新たな共同事業の研究・展開
- ・組合及び組合員企業の経営革新の推進
- ・組合の点検による新たな経済活動の展開
- ・組合青年部及び女性部の設立促進・育成による組

織の活性化

- ・中小企業組合士制度の強化と組合士会の育成支援
 - ・商工中金の「中央会提携ローン」等の積極的な勧奨
 - ・特定プロジェクトの一定期間集中支援
 - 組合以外の多様な連携組織への支援
 - ・NPO法人、日本版LLC、LLP等新たな産業組織形態との幅広い連携
 - ・企業間連携、産学官連携による課題解決
 - 「中小企業新事業活動促進法」施行に基づく市場挑戦型中小企業の支援
- (2) 中小企業及び組合のIT化推進支援
- 組合等を基盤とする中小企業のIT化推進支援

組合運営等へのIT導入支援
 情報関連各種法制度等への対応支援
 組合情報化支援機能の強化

- (3) 中小企業の経営革新及び連携事業活動に対する支援
- (4) 雇用・労働関連事業の積極的な推進
- (5) 組合等の人材養成（若手経営者・後継者を含む）の推進
- (6) 環境・安全・リサイクル等社会的要請への取り組みに対する支援の強化
- (7) 商店街活性化への支援、個別店舗に対する経営支援及び中小小売商業、サービス業の育成振興
- (8) コミュニティビジネスの推進
- (9) 下請中小企業等に対する支援

- (10) 官公需適格組合の発注機関の電子化への対応と受注機会確保の推進
- (11) 関係機関との連携・協力関係の強化
- (12) 官公需受注確保対策の推進
- (13) 中小企業施策の周知徹底及び中央会・組合活動のPRの推進

2. 調査研究活動

- (1) 中小企業労働事情に関する調査研究
- (2) 中小企業及び組合に関する調査研究

3. 中小企業運動

- (1) 中小企業対策・中小企業組織化対策の充実強化
- (2) 創立50周年記念事業の開催、全国大会（北海道・札幌市）への参加と決議事項の実現
- (3) 県産品普及向上運動の推進

第4回岩手県中小企業振興奨励賞 受賞2組合 おめでとうございます！！

本会の第50回通常総会の中で、『岩手県中小企業振興奨励賞』の授賞式が行われました。この奨励賞は、第52回中小企業団体全国大会の岩手県開催をひとつの契機として本会が創設した、県内中小企業の発展に寄与した組合に与える表彰制度で、今年で第4回目を数えます。表彰の対象となるのは、社会貢献、環境・エネルギー、新事業創設、後継者育成、中小企業の振興等の分野の中から特に顕著な取り組みを行った本会の会員組合で、今回は以下の2組合の受賞となりました。

受賞組合	岩手県乾麺工業協同組合
	
理事長	高橋 信教
主な共同事業	組合員の取扱う麺類の共同生産
受賞理由	「盛岡冷麺」を全国的なブランドに育て上げ、組合員の販売力向上に大きく貢献した功績による。

受賞組合	盛岡市材木町商店街振興組合
	
理事長	宮沼 孝輔
主な共同事業	共同販促事業
受賞理由	毎年多くの観光客を集める「よ市」の開催など、商店街のにぎわい創出に大きく貢献した功績による。

平成17年度の岩手県商工労働観光部重点施策の概要

基本方針 「21世紀型の新しい産業先進県」の実現による地方の自立

県では、17年度の重点化ポイントを以下のとおり示し、「21世紀型の新しい産業先進県」の実現を目指す方針を打ち出しました。

重点化のポイント

目指す姿：「21世紀型の新しい産業先進県」

- ・ 少子・高齢化と人口減少社会の到来
- ・ 経済のグローバル化の進展
- ・ ユビキタス社会の進展

に対応し、岩手が真に自立できる地域として発展していくためには、地域経済の活性化が不可欠です。このため、岩手ならではの地域資源や情報通信技術を始めとした新しい技術を生かした産業の振興、及びそれを支える産業人材の育成に積極的に取り組み、「21世紀型の新しい産業先進県」を実現していきます。

主な事業の概要

自動車関連産業の集積を通じたものづくり基盤の構築

自動車関連産業の集積促進を通じ、地場企業におけるものづくり技術の一層の高度化、高度な技術・技能をもった産業人材の育成を進め、本県のものづくり基盤を拡充する。

自動車関連産業創出推進事業【予算額 30.5 百万円】【政策】

- ・ 自動車関連産業創出推進事業コーディネータの設置等
- ・ 自動車関連産業技術展示会の開催等
- ・ 自動車関連産業人材育成支援事業費補助

いわて産業人材育成事業【予算額 21.2 百万円】【新規】

- ・ いわてものづくりアカデミー（仮称）の開催
- ・ 組込系ソフトウェア開発技術者養成事業費補助

ものづくり人材育成事業【予算額 28.2 百万円】【新規】

- ・ 岩手県青年技能競技会・技能評価会（仮称）開催事業費負担金
- ・ 技能五輪全国大会出場選手育成派遣費補助
- ・ 技能五輪全国大会出場選手派遣費補助
- ・ 全国障害者技能競技大会出場選手派遣支援費補助

多様な連携・交流による産業ネットワークの構築

産学官や異業種間等のネットワークを構築し、新たな技術、産業の創出を図る。

夢県土いわて戦略的研究推進事業【予算額 229.3 百万円】【政策】

- ・ 公募型研究開発資金
- ・ 研究評価委員会（仮称）運営費補助

産学官連携機能強化促進事業費補助【予算額 10.0 百万円】【新規】

- ・ 事業化プロモート強化事業
- ・ 研究育成試験費

新事業創造推進事業【73.1 百万円】【新規】

- ・ 新事業市場展開事業（金融機関と連携した首都圏での販路展開に向けた商談会の開催）
- ・ 新事業戦略構築事業（企業の新分野成長戦略構築を支援）
- ・ 新事業商品化支援事業費補助（市場ニーズに対応した新商品開発・販売戦略構築等の支援）

新連携サービス産業創出事業【予算額 4.5 百万円】【新規】 本会受託事業

- ・ 県内サービス産業の活性化を促進するため、異業種連携による新たなビジネスモデルづくりやモデル事業を支援する

いわてクラフトふれあい事業【予算額 7.1 百万円】【政策】

- ・ 展示会の開催などにより、県内で生産されている工芸品等を広く紹介するとともに、県内工芸品関係業者の協同による新製品（例.さんさ鈴）の開発等を行う。

いわての特性を活かした食品関連産業の振興

本県の特徴ある食材等を活用し、市場に支持される食品関連産業を育成する。

攻めの食産業推進事業【予算額 5.2 百万円】【新規】

- ・ 提携マーケットの開拓
- ・ ダイレクト商談会の開催
- ・ 地域内販売、直売ビジネス実態調査 等

商店街の自律再生の促進

商店街活性化に向けた事業者及び商店街自らの主体的な取組みを支援する。

商店街自律再生支援事業【予算額 9.7 百万円】【新規】

- ・ 成功店モデル創出、波及事業等
- ・ 商店街、生活者連携促進支援調査事業 **本会受託事業**

中心市街地商店街施設設備費補助【予算額 397.3 百万円】

- ・ 水沢メイプル取得再生事業

県内産業の国際化の促進

経済のグローバル化に対応し、県内企業の海外展開支援、国際観光振興を推進する。

大連経済事務所管理運営費【予算額 29.8 百万円】

- ・ 今後一層の市場拡大が見込まれる中国との経済交流や観光客誘致の拡大を図るため、岩手県大連経済事務所を設置する。

中小企業東アジア経済交流モデル調査構築事業【予算額 1.2 百万円】【新規】

- ・ 東アジアをマーケットとしたビジネスモデルの調査・構築等を進めるとともに、県内企業の海外事務所のつなぎ機能（体制）を強化する。 **本会受託事業**

いわて観光経済交流センター（仮称）整備事業【予算額 36.4 百万円】【新規】

- ・ 地場産品の販路拡大、県内企業の海外展開支援及び観光振興に関する関係機関を集約したワンストップ・サービスセンターを整備する。

個性を生かし能力を発揮して働ける就業機会の確保

不安定就労若年者や障害者を対象とした職業訓練を拡充し、実施する。

就職支援能力開発事業【予算額 80.5 百万円】

- ・ 離転職者等再就職訓練事業
- ・ 日本版デュアルシステム訓練事業

チャレンジド就業支援事業【予算額 57.8 百万円】【政策】

- ・ 障害者の就業を支援するため、職業訓練法人等への委託による職業訓練を拡充する。

千年の古都「平泉（HIRAIZUMI）」を生かした本県観光の振興

大河ドラマ「義経」の放映と平泉世界文化遺産登録の推進を本県観光振興の大きなチャンスとして、全県への波及効果の拡大を図る。

大河ドラマ「義経」タイアップ観光特別推進事業【予算額 25.3 百万円】【政策】

- ・ 受入れイベントの開催等
- ・ 国内主要旅行業者との連携による旅行商品造成等

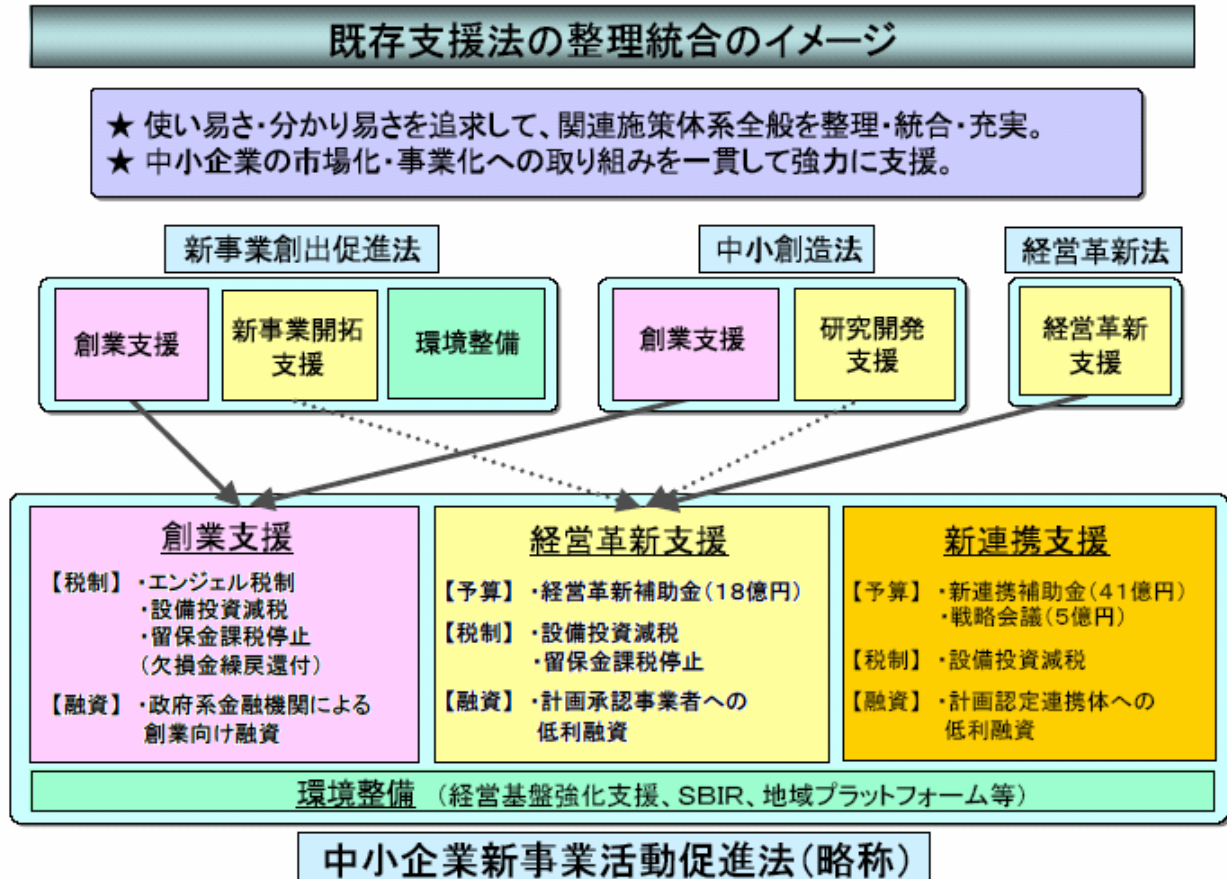
杜の賑わい盛岡（仮称）実行委員会負担金【予算額 10.0 百万円】【新規】

- ・ JTB との連携により本県の伝統芸能を全国に情報発信する「杜の賑わい盛岡（仮称）」を開催し、本県全域への観光客の拡大を図る。

中小企業新事業活動促進法について

4月6日、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）」が成立しました。（施行日は、平成17年4月13日）

同法律は、中小企業を支援する既存の3法律、中小企業の創造的事業活動の促進に関する臨時措置法（中小創造法）、新事業創出促進法、中小企業経営革新支援法を整理統合し、「新連携」支援を新たな柱として加えるとともに、予算や税制などの支援措置を含めて中小企業支援の骨太化を図ったものです。



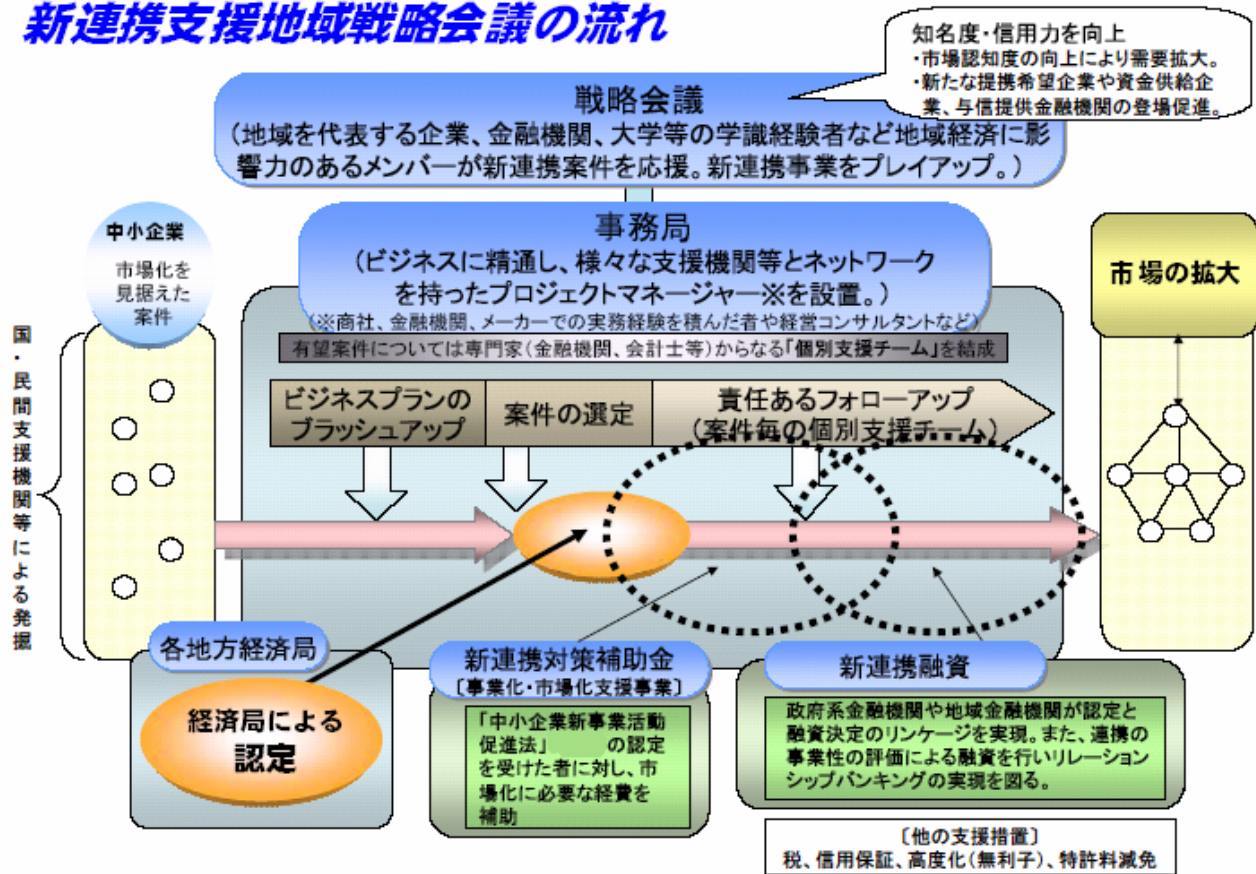
「新連携」の支援について

中小企業新事業活動促進法の新しい柱として位置付けられる「新連携」とは、2社以上の中小企業（この他に、大企業、大学、研究機関、NPO、組合等が参加できます。）が連携して、それぞれが有する技術・ノウハウなどの強みを持ち寄って高付加価値の製品やサービスを新たに創出する事業展開のことです。

新連携支援の実施にあたっては、全国9カ所のブロックに「新連携支援地域戦略会議」が設置されます。この会議は、地域を代表する企業や金融機関、大学等の学識経験者など地域経済に影響力のあるメンバーで構成され、また、その事務局にはビジネスに精通した経営コンサルタントや様々な支援機関とネットワークを持った者がプロジェクトマネージャーとして置かれ、個別支援チームを組成し、事業計画の策定段階から研究開発、販路開拓等の様々なステージにおいて支援します。

新連携の事業計画の認定を受けると、計画達成に向けて様々な支援策があり、連携体の規約作成・システム構築や販路開拓等の経費に使える補助金が利用できます。

新連携支援地域戦略会議の流れ



「経営革新」の支援について

中小企業や組合が新たな事業活動を行い、その経営の向上を図るビジネスプラン(「経営革新計画」)を策定し、都道府県等で承認を受けると、別途審査はありますが、経営革新達成のための様々な支援策を受けることができます。

具体的には、新商品・新技術・新サービスの開発や販路開拓等の経費に使える補助金、政府系金融機関による低利融資、また、設備投資減税や留保金課税の停止などの税制措置が講じられています。

経営革新計画では、以下の目標数値をクリアすることが必要となりますが、本会では経営革新計画策定並びに策定後の取り組みについての支援を実施しております。窓口は、本会 市場開発部となっておりますので、お気軽にご相談ください。

< 新たな事業活動とは... >

- ◆新商品の開発又は製造
- ◆新役務の開発又は製造
- ◆商品の新たな生産又は販売の方式の導入
- ◆役務の新たな提供の方式の導入
- ◆その他の新たな事業活動

■経営革新計画の数値目標について

経営革新計画の数値目標は、以下の指標(経営の向上の程度を示す指標)のいずれかが5年間の計画の場合、5年後の目標伸び率が15%以上であることが必要です。なお、3年間の計画の場合は9%以上の目標を、4年間の計画の場合は12%以上の目標を立てる必要があります。

①企業全体の付加価値額
または、
②企業全体の従業員1人あたりの付加価値額



付加価値額=営業利益+人件費+減価償却費
または、
1人あたりの付加価値額=付加価値額/従業員数
↓
3年計画= 9%以上
4年計画= 12%以上
5年計画= 15%以上

「高度化融資制度」が使いやすくなりました！

中小企業の方々が共同で経営体質の改善や、経営環境の変化への対応を図る事業に必要な資金を融資します。
このたび、中小企業基盤整備機構では、高度化融資制度が一層使いやすいものとなるよう、事業の見直しを行いました。その内容は、主として次の3点です。

リニューアル事業への積極的支援

既往貸付先の施設の再整備(リニューアル)について、積極的に貸付対象とします(「施設再整備貸付」)。

限度額連帯保証制度の導入

連帯保証人それぞれに限度額を設定する限度額連帯保証制度を新設しました。

限度額連帯保証制度の適用の可否は、都道府県の判断によります。

貸付要件の緩和

資産計上されるものであれば貸付対象とするなど、貸付の共通要件を緩和しました。

商店街パティオ事業の面積比率を撤廃するなど事業毎の要件を緩和しました。

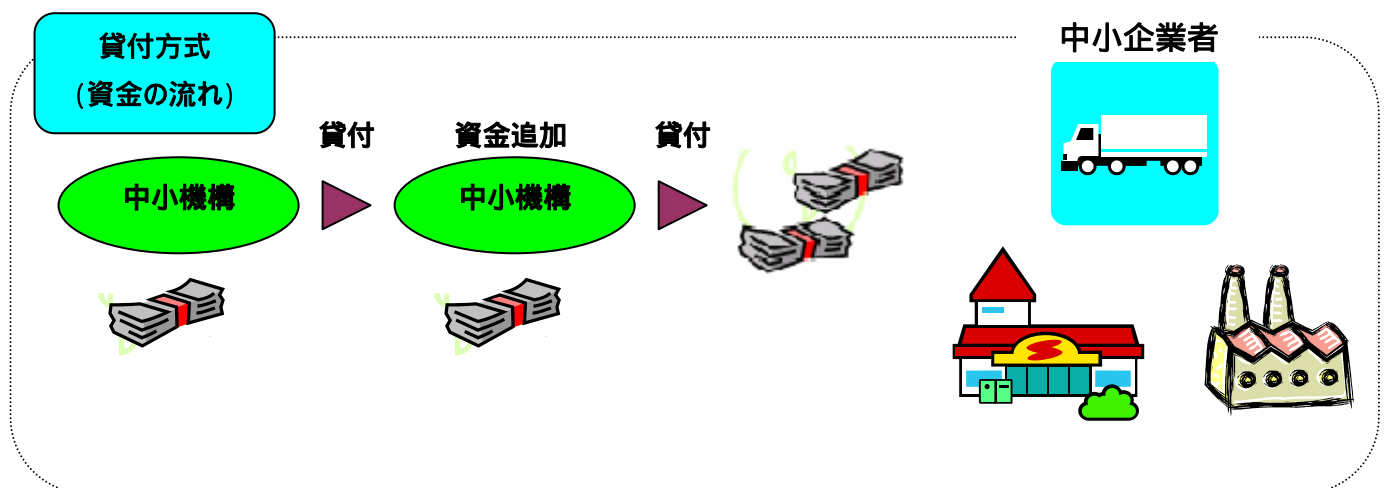
貸付条件	貸付対象者	事業協同組合、協業組合、共同出資会社、第三セクター、商工会等
	貸付割合	貸付対象施設の設置資金の 80% 以内
	償還期限	据置期間を含む 20年以内 であって、都道府県が適当と認める期限
	据置期間	3年以内であって、都道府県が適当と認める期間
	金利	年利0.80% (平成17年度)もしくは 無利子 金利は償還期限まで 固定

主な事業

流通業	集団化事業、集積区域整備事業、共同施設事業、施設集約化事業、設備リース事業
製造業	集団化事業、集積区域整備事業、共同施設事業、施設集約化事業、設備リース事業、地域産業創造基盤整備事業
小売業	集団化事業、集積区域整備事業、共同施設事業、施設集約化事業、連鎖化事業、商店街整備等支援事業

中小機構と都道府県が一体となって資金協力します。

受付・相談は、各都道府県の企業担当課又は中小機構 連携集積課へ



第16回 大 槌 町

- Town Information - 大槌町は陸中海岸国立公園の中央部に位置し、北は山田町、西は川井村、遠野市、南は釜石市に接しており、町を横断している大槌川と小槌川の流域には市街地を形成、東面はリアス式海岸に面しています。町内には「大槌城址」「義経北行伝説」「海の豪商前川善兵衛」にゆかりの名所・旧跡などの歴史・文化的遺産が数多く残されています。また、水と緑に恵まれ、まるで南国の海のように美しく澄んだ浪板海岸や、数多くの高山植物が咲き揃う新山高原など、豊かな自然環境が備わっております。これからも、地域の特性を生かした活力と夢のある個性的なまちづくりを推進していきます。



メモ 人口 17,292人 面積 200.57km²
URL <http://www.town.otsuchi.iwate.jp>

中心市街地活性化への取り組み

大槌町の商業地として大槌駅の北側に3つの商店街があります。また、大型店舗施設には近隣市町村からも買い物客が流入する地域型の商業拠点となっています。しかし、近年の不況の長期化、消費行動の広域化、大型店の立地などによって販売額が減少傾向にあります。特に既存商店街の衰退傾向が顕著に現れているなか当町では、早い時期から商業活性化と市街地の整備改善などに取り組んできました。また、今年の3月に大槌町商業タウンマネジメント事業計画を策定。御社地（おしゃち）総合整備事業・空店舗活用事業・中心市街地公共施設活用事業をはじめとする10事業をTMO、商工会、商店会、町内会、が主体となって平成21年度に事業完了を目標とし、今年度から各事業を推進していきます。

お待たせしました！ 「新山高原まつり」の開催



平成15・16年度は釜石広域ウィンドファームの工事に伴い新山高原まつりは2ヵ年見合わせておりましたが今年12月に完成しましたので、今年8月28日に開催いたします。なお、郷土芸能をはじめ、風力施設関係の催し物を各種企画しておりますので、ぜひご来場くださいますようよろしくお願い致します。

新山高原の大風車

中小企業融資保証料補給事業

町内で事業を営む中小企業者が事業資金を円滑に調達できるよう町内の金融機関が融資枠を設定。その融資額にかかる保証料を町が補給しています。

対象企業は、中小企業基本法第2条に定める会社・個人等(開業資金については3年以上の経験が必要)

区分	融資限度額	保証料率	貸付利率	償還期間	措置期間	保証人
小口	運 転	5,000,000 円	(3年以内) 短期 2.7%	5年以内	6ヶ月	連帯保証人 1名以上
	設 備			7年以内	12ヶ月	
中口	運 転	10,000,000 円	(3年~10年以内) 長期 2.9%	7年以内	6ヶ月	
	設 備			10年以内	12ヶ月	
開業	運 転	3,000,000 円		5年以内	6ヶ月	
	設 備			5,000,000 円	7年以内	

詳しくは、大槌町水産商工課、各取扱金融機関までお問い合わせください。

大槌町水産商工課 TEL 0193-42-8762 FAX 0193-42-3855

情報連絡員レポート

3月分 景況感は依然低迷

全体の概要

前月に続き、IT関連の在庫調整等の影響により一部製造業における回復傾向が失速している。また、その他の製造業、建設業、商店街等でも、原材料・燃料の高騰、公共工事の削減、個人消費の低迷等により売上高や収益・景況感の指標は依然マイナスの水準であり、本県中小企業の経営環境は厳しい状況が続いている。

主な業界及び地域組合等の動向

菓子製造業

天候要因に左右されたこともあるが、総じて購買動向は低調のままである。

木材・木製品製造業

2月同様、降雪、悪天候のため出材が少ない。針葉樹原木は、久慈港から大王製紙への積み出しや県内合板工場への出荷等で不足している。

印刷業

年度末は、官公庁の仕事が例年多く発生するはずが、今年度は昨年度の発注量の半分以下にとどまり、官公庁のウェイトの多い所は売上がかなり落ちたように見受けられた。

砕石製造業

平成16年度は生産量、出荷量とも対前年比16%減少であり、厳しい現状である。

一般機器製造業（北上市）

前月より少し受注生産が増加するも、前年同月に比しては1割強落ち込んでいる。また、4～5月の先行き不安感はあるものの、大幅な低下はない見込み。

各種商品卸売業（盛岡市）

日用雑貨卸売業において（1社）大方の従業員を解雇した企業あり。家電、空調関連機器販売の会社合併があった。

自転車小売業

昨年同月比を防犯登録枚数で比較すると、今年度は84%という近年にない大幅な落ち込みとなった。景気回復は望めない上に、天候不順そして高齢化で廃業者も多数出ている。今後の対応として、販売額よりも利益の向上を考えた姿勢が要求される。

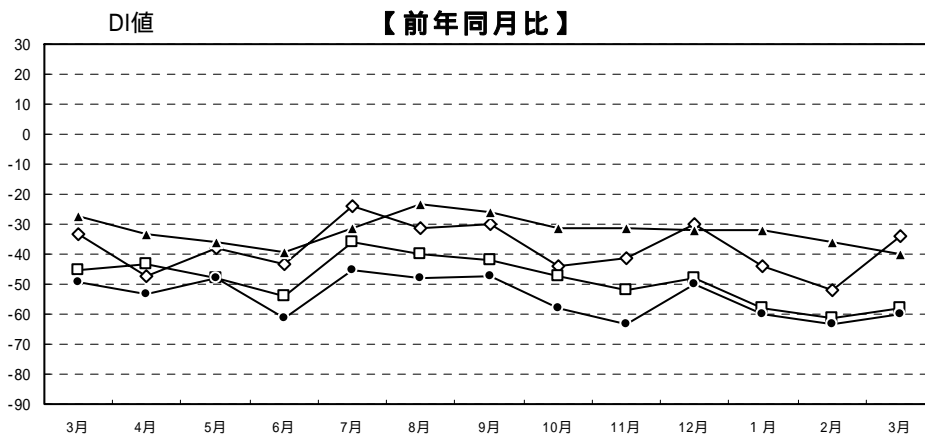
商店街等（盛岡市）

大型店と商店街の共同販促事業を中旬から実施しているが、昨年と比べ減少している。一部店舗の他地区との比較で、他はもっと落ちているので、企画を行っただけの効果はあるとの事である。駐車場の利用も減少している。消費抑制と雇用不安が一番の要因と思われる。

運輸業

燃料単価（軽油）上昇、4月も5円/ℓ、5月2.5円/ℓ上昇との情報がある。

売上等の動向（全業種DI値）



景気動向指数
 DI（デフュージョンインデックス）値
 DI値は「好転」業種割合から「悪化」業種割合を差し引いた数値

- ... 売上受注
- ... 収益状況
- ... 資金繰り
- ... 景況



黒崎温泉企業組合

理事長	小松 照一
組合員数	19名
出資金	4,280,000円
住所	陸前高田市広田町字黒崎 9-41
電話	0192 - 57 - 1126
F A X	0192 - 57 - 1126
営業時間	10:00 ~ 20:00
定休日	毎週水曜日

黒崎仙峡温泉 ~ 新たな歴史を刻む温泉郷 ~

広大な陸中海岸国立公園の南に位置するリアス式海岸の名勝、黒崎仙峡に近年ひとつの組合が設立された。「黒崎温泉企業組合」である。この組合は、当地で湧出したお湯の温泉権を取得した陸前高田市の要請を受けて、地元の有志が集い法人化した企業組合で、温泉を中心とした黒崎地区の魅力づくりと地域雇用の創出を目的に、温泉施設の管理運営・食堂の経営、また特産品の販売等を事業の中心として、平成16年10月に新たな一歩を踏み出した。

温泉が湧き出したのが平成10年と、黒崎仙峡はまだ歴史の浅い温泉郷で施設のキャパシティも比較的小さいが、その利用客は平日で120~130人、土日祝日だと200人を超え、地元の人々を中心に着実にその支持を集めている。現在は、宿泊できない日帰り限定の温泉施設だが、いずれは建物を増築・増床して、もっと遠くから多くの人達に利用してもらえよう、日々計画を進めている。

海を見下ろす素晴らしいロケーション

黒崎温泉の最大の特長は、海を見下ろすそのロケーションにあるだろう。温泉施設に近づくと、急に視界が開け、三陸の見事なリアス式海岸にまず目が奪われる。その風光明媚は、ある時は凧の穏やかな心休まる風景であったり、またある時は時化の荒々しく心揺さぶる景色であったり、日々その姿を変えるのでなかなか言葉や写真で伝えることは難しい。

また、「黒崎」の由来にもなった、この地域独特の黒色をした海岸線の奇岩群もこの絶勝を見事に演出している。

黒崎温泉のお湯は、無色透明で臭いもほとんどなく至って癖のないものであるが、多少の塩味を含んでおり、地元では肌に良いとの評判で、特に子供のアトピー性皮膚炎に効果があるとの声が高い。



窓から望める
三陸の打ち寄せる白波

もうひとつの魅力 ~ お食事処「さんきょう」~



地元の人々で賑わう交流室

施設内のお食事処「さんきょう」では、組合員が経営を行い、海の幸があふれる手作りの料理を提供している。

目の前の海で採れたばかりの食材を、直接厨房に運び入れて調理するのだからその鮮度は言うまでも無い。また、地元の漁師から直接買い付けるので、新鮮な高級食材もかなりのお手頃価格で提供することができる。

メニューのひとつ、あわび定食(要予約)では、出てきたあわびがまだ動いていることにびっくりしたお客様もいたとか。

この「さんきょう」には交流室が設けられており、組合で近隣を巡回する送迎バスを運行していることもあって、この施設は地域のコミュニティにとっても、無くてはならない交流の場となっている。

組合運営 Q&A

本稿では、組合を運営していくうえで生じやすいと思われる質問・疑問について、一問一答形式でお答えしていきます。

Q . 今回の通常総会で役員改選がありました。理事長などの役付理事を選任した際の理事会議事録への記名捺印について教えてください。

A . 理事長などを選任した理事会議事録への記名捺印は、前任代表理事の去就によってその方法が異なります。

代表理事が再選された場合

代表理事が再選による就任（又は重任）であって、理事会議事録に既に法務局に登録してある印鑑（理事長印）を議長理事又は出席理事として捺印した場合は、他の理事の捺印する印鑑は個人の認め印でも構いません。

代表理事が変わり、前任者が理事に残らない場合

議長理事及び出席理事の捺印する印鑑は、すべて個人の実印（地方自治体に登録してある印鑑）を捺印し、代表理事の変更登記を行う際は、各々の印鑑証明書を理事会議事録に添付する必要があります。

代表理事が変わり、前任者が理事に残る場合

前任の理事長であった理事が、議長理事又は出席理事として理事長印を押印した場合は、他の理事の捺印する印鑑は個人の認め印でも構いません。

～ 官公需落札情報 ～

中小企業の今後の受注活動の参考として、国等が発注・調達した工事・物品における落札結果をお知らせいたします。

< 平成16年度第4・四半期（平成17.1.1～3.31）工事の落札結果 >

発注機関名	工事名	入札日	予定価格（千円）	落札価格（千円）
国土交通省 北上川ダム統合管理事務所 総務課 TEL019-643-7832	田瀬ダム管理用制御処理設備設置工事	平成17年 2月24日	159,180	157,500



中央会創立 50 周年記念式典の開催について

本会は、昭和 30 年 12 月「岩手県中小企業等協同組合中央会」として創立し、今年 12 月に創立 50 周年を迎えます。

そこで本会では、創立 50 年を記念し、これまで歩んできた歴史と変遷を振り返るとともに、今後の更なる活動内容の充実を図るため、「中央会創立 50 周年記念式典」を下記日程にて開催する予定で準備を進めております。当式典では、組合制度の普及と組合育成強化に尽くした組合功労者等への記念表彰や 50 年の歩みを綴った記念フィルムの上映、テレビやラジオ、新聞等で幅広く活躍されている 鳶 信彦(しま・のぶひこ)氏を招いての記念講演など、節目となる 50 周年を飾るに相応しい内容を予定しております。

正式なご案内は後日改めて致しますが、万障お繰り合わせの上ご来場賜りますようご案内申し上げます。

中央会創立 50 周年記念事業開催スケジュール

と き 平成 17 年 11 月 10 日(木) 13:00~
と ころ ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング

式典の主な内容

13:00	開 会
13:20	記念表彰(以下の表彰を予定) 中小企業長官表彰 東北経済局長表彰 岩手県知事表彰 全国中小企業団体中央会会長表彰 岩手県中小企業団体中央会会長表彰
15:10	記念講演 講師: 鳶 信彦氏(経済ジャーナリスト) TBS「NEWS 23」「報道特集」などに出演
17:00	記念パーティー



【中央会主催事業等のスケジュール】

月 日・時 期	内 容	担 当 課
6 月	組合代表者との地区別懇談会 場所：県内 10 地区 (詳細な日程は、後日ご案内申し上げます。)	総務企画部
10月20～23日	創立50周年記念大連経済事情視察 (詳細な日程は、後日ご案内申し上げます。)	市場開発部
11月10日(木)	岩手県中小企業団体中央会 創立50周年記念式典 場所 ホテルメトロポリタン盛岡「ニューウイング」 時間 13:00～	総務企画部

主要日誌 (4月1日～4月30日)

中央会主催・関連事業	関係機関・団体主催行事への出席等
・ 組合自治監査講習会 (4/18)	・ 「いわて教育の日」制定推進協議会 (4/13)
・ 第50回通常総会 (4/27)	・ 起業家育成に関する連絡会議 (4/15)
	・ 地域労使就職支援機構第運営委員会 (4/18)
	・ 岩手県職業能力開発協会理事会 (4/19)
	・ 「岩手県消費生活条例」に係る説明会 (4/19)
	・ ものづくり東北フォーラム (4/19)
	・ 中心市街地活性化に関する研究会 (4/20)
	・ 地域労使就職支援機構総会 (4/22)
	・ 平成17年度第1回貸付審査委員会 (4/26)
	・ 第22回岩手県産官学連携連絡会 (4/26)

会 員 動 向

盛岡市肴町(商振)	肴町商店街「春まつり」	4/8～9
盛岡市肴町商店街のアーケード内で、マジックショー、親子わんこそば大会等のイベントが盛り沢山の「春まつり」が開催された。この他にも産直品や工芸品等様々なブースも設けられ、多くの人達で賑わった。		

盛岡人材銀行ニュース <平成16年4月-17年3月分>

(お問い合わせ) 盛岡市菜園1丁目12-18 盛岡人材銀行(019-653-3257)

職業	管 理 職				技 術 職					専 門 職			その他	合計
	総務	経理	営業	他	機械	電気	建築	土木	他	薬剤師	教育	他		
求人	26	55	147	309	23	53	100	82	310	24	41	445	125	1,740
求職	92	74	108	103	8	32	51	59	178	3	48	271	2	1,029
就職	7	8	18	31	0	2	10	24	32	0	21	63	27	243